

# 環境経営レポート

【2023年度】

運用期間 2023年4月～2024年3月



遠藤硝子株式会社

2024年5月30日発行

---

## 目次

1. 組織の概要	1
2. 対象範囲	1
3. 環境経営方針	2
4. 環境経営目標	3
5. 環境経営計画	4
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	5
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	7
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	9
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9

## ①組織の概要

- 1 事業名及び代表者 遠藤硝子株式会社 代表取締役 遠藤 俊
- 2 所在地 東京都墨田区江東橋1丁目11番9号  
TEL 03-3631-0758  
FAX 03-3631-0930
- 3 環境管理責任者 遠藤 俊  
【2023年度】 TEL 03-3631-0758  
FAX 03-3631-0930  
E-mail shun-endo@endo-glass.com
- 4 事業内容 硝子工事業  
総合建設業会社より工事を請負い、建設現場等において、硝子全般の  
工事を行なっております
- 5 事業許可番号 建設業許可 東京都知事(般-28)第1209号 ガラス工事業  
有効期限 2021年12月5日 から 2026年12月4日 (西暦に変更)
- 6 事業規模 創立 大正8年11月  
法人設立 昭和23年11月23日  
資本金 3,000 万円  
売上高 80,000 万円  
従業員 10 人  
床面積 130 m<sup>2</sup>
- 7 建設現場等の概要及び件数

工事・業務等の名称	金額(万円)	内容	環境配慮事項	使用建機等	公共・民間
戸田建設本社ビル	8,000	ガラス工事	産業廃棄物の分別	無し	民間
イオン越谷レイクタウン	4,500	ガラス工事	産業廃棄物の分別	無し	民間

他 民間のみ 60件

## ②対象範囲及び実施体制

- 1 認証登録の対象範囲 本社(東京都墨田区のみ)
- 2 レポートの対象期間 2023年4月1日～2024年3月31日  
レポートの発効日 2024年5月30日

## ③環境経営方針 エコアクション21取り組みにあたり

### ■ 基本理念

当社は、建設現場での硝子工事を請負う 創業100年超の会社であります。

何事にも誠心誠意取り組む事が、結果、最良の営業活動になるとの経営理念のもと  
様々な伝統の継承と、新たな試みに挑戦しております。

当社の活動拠点であります建設現場・又社内において、環境保全活動を推進し、

【2023年度】

### 年4月環境経営方針

- 1 エコアクション21に基づく、環境マネジメントシステムを構築し、環境への負荷を維持します
- 2 環境関連法規を遵守します
- 3 環境保全活動

環境保全活動1 事務所での空調機械の設定温度の厳守

環境保全活動2 車の適正使用を心がけ、自動車燃料の削減に努める

環境保全活動3 会社内での節水を心がける

環境保全活動4 産業廃棄物のリサイクル率を向上する

環境保全活動5 環境配慮型商品の営業活動を推進する

- 4 地域貢献 地域で取り組むリサイクル活動等に積極的に参加し、地域の収益に貢献する
- 5 その他 社員全員が環境方針を理解し取り組むことによって、真の経営改善を目指す
- 6 環境活動レポートを作成し、公表します

改定 2018年4月1日

遠藤硝子株式会社

代表取締役

#### ④環境経営目標

No.	項目		2020年度 基準年度実績		2025年度中期目標		2023年度目標	
1	エネルギー 軽減	電力使用量の削減	10,427	kwh	2020年度比 -10%		2020年度比 -10%	
					9,384	kwh	9,384	kwh
2	エネルギー 使用量の 削減	ガソリン使用量の削減	8,397	L	2020年度比 -5%		2020年度比 -5%	
					7,977	L	7,977	L
CO2 排出量	電力使用量の削減	電力使用量の削減	4,598	kg-co2	2020年度比 -10%		2020年度比 -10%	
					4,138	kg-co3	4,138	kg-co3
	ガソリン使用量の削減	ガソリン使用量の削減	19,481	kg-co2	2020年度比 -5%		2020年度比 -5%	
					18,507	kg-co2	18,507	kg-co2
	合計	合計	24,079	kg-co2	2020年度比 -6%		2020年度比 -6%	
					22,645	kg-co2	22,645	kg-co2
3	水の 使用量の 削減	水の 使用量の 削減	79	m <sup>3</sup>	2020年度比 -5%		2020年度比 -5%	
					75	m <sup>3</sup>	75	m <sup>3</sup>
4	産業廃棄物の削減	受注工事内容に左右されるために、年度の削減目標の数値目標は設定しないが、 今後 マニフェスト管理と共に実数を把握していく						
5	環境配慮型商品の営業	営業件数増加の実績を踏まえ、日常業務へ移行に伴い、数値目標の 設定は行わず、積極的な営業活動を継続していく						

排出係数 2.32kg-CO2/Lを使用。

電力の実排出係数 0.441kg-CO2/kWhを使用。

## ⑤環境経営計画

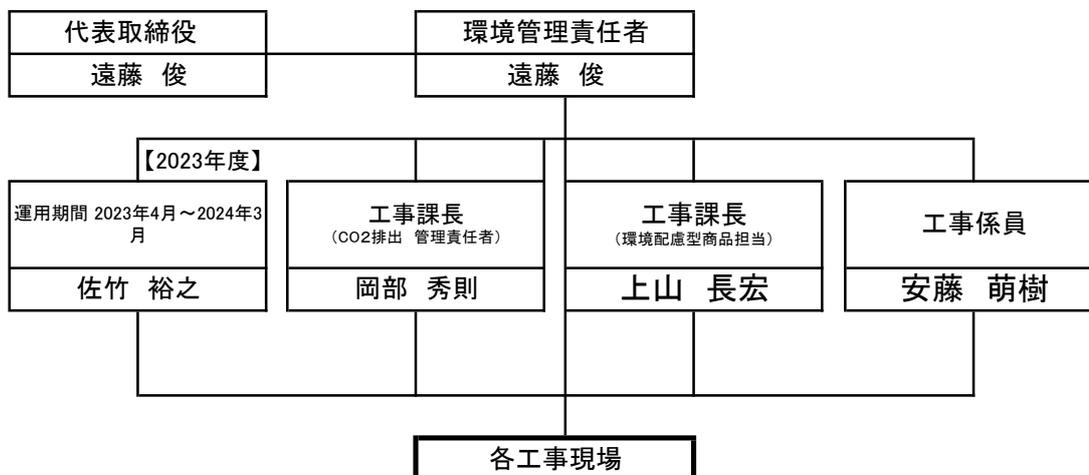
No.	項目	2023年度目標	2023年度活動計画
1	エネルギー使用量の軽減 電力使用量の削減	2020年度比 -10%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン設定温度の厳守</li> <li>・クールビズ、ウォームビズ推進</li> <li>・室内温度 夏季28度 冬季20度設定</li> </ul>
		9,384 kwh	
年4月	ガソリン使用量の削減	2020年度比 -5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイドリングストップの徹底</li> <li>・コロナの情勢を判断し、車使用に関するルールも適宜変更する</li> </ul>
		7,977 L	
CO2 排出量	電力使用量の削減	2020年度比 -10%	
		4,138 kg-co2	
	ガソリン使用量の削減	2020年度比 -5%	
		18,507 kg-co2	
	合計	2020年度比 -6%	
		22,645 kg-co2	
3	水の使用量の削減	2020年度比 -5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の無駄使い防止の徹底</li> </ul>
		75 m <sup>3</sup>	
4	産業廃棄物の削減	受注工事内容に左右されるために、年度の削減目標の数値目標は設定しないが、今後 マニフェスト管理と共に実数を把握していく	
5	環境配慮型商品の営業	ブログ・インスタグラムの開設により、閲覧者を増やすことに注力する	

・ガソリンのCO2排出係数は、排出係数 2.32kg-CO2/Lを使用。

・電力のCO2排出係数は、2020年東京電力の実排出係数 0.441kg-CO2/kWhを使用。

## ⑥環境経営計画に基づき実施した取組内容

### (1)実施体制



代表者（代表取締役）	環境経営に関する統括責任者
遠藤 俊	環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者（事務局）	各実施計画に対する作成・実施
遠藤 俊	目標未達成時の代表者への報告、対策、指示 各責任者からの報告を受けての対策、指示
CO2排出量削減担当者（電力）	月度、電気・水道の使用数量の集計、報告
岡部 秀則	室内設定温度の管理責任
CO2排出量削減担当者（ガソリン）	月度、ガソリン使用量の集計、報告
岡部 秀則	アイドリングストップの声掛け運動 荷を積まないトラックの運行禁止運動
ガラスくず産業廃棄物の削減の担当者	マニフェスト発行・回収の管理
佐竹 裕之	各排出量数値の把握・改善検討
環境型商品の営業	環境型商品の研究・開発
遠藤 俊・上山 長宏	SMSの積極的発信

(2)取組内容

No.	項目	2023年度 活動計画	2023年度 実施した取組内容
1	エネルギー使用量の軽減	電力使用量の削減 ・エアコン設定温度の厳守 ・クールビズ、ウオームビズ推進 ・室内温度 夏季28度 冬季20度設定	・計画内容を実施できた
2		ガソリン使用量の削減 ・アイドリングストップの徹底 ・コロナの情勢を判断し、車使用に関するルールも適宜変更する	・計画内容を実施できた
運用期間 2023年4月～2024年3月			・計画内容に加え、教育により周知した
3	水の使用量の削減	・水の無駄使い防止の徹底	・計画内容に加え、教育により周知した
4	産業廃棄物の削減	受注工事内容に左右されるために、年度の削減目標の数値目標は設定しないが、今後 マニフェスト管理と共に実数を把握していく	
5	環境配慮型商品の営業	ブログ・Instagramの開設により、閲覧者を増やすことに注力する	

## ⑦ 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

### (1) 環境経営計画の取組結果とその評価

N O.	項目	2023年度目標		2023年度 年間		評価
				結果		
運用 期間 2023 年4 月～ 2024	エネルギー 使用量 の 削減	2020年度比 -10%		-4%		・基準年-10%を目標とし、目標達成であった。
		9,384	kwh	9,057	kwh	
2	ガソリン 使用量 の 削減	2020年度比 -5%		9%		・完全にコロナ以前の車使用状況に戻り、目標達成には至らなかった。
		7,977	L	8,782	L	
C O 2 排 出 量	電力 使用量 の 削減	2020年度比 -10%		-4%		/
		4,138	kg-co2	3,994	kg-co2	
	ガソリン 使用量 の 削減	2020年度比 -5%		9%		
		18,507	kg-co2	20,374	kg-co2	
	合計	2020年度比 -9%		7%		
		22,645	kg-co2	24,368	kg-co2	
3	水の 使用量 削減	2020年度比 -5%		24%		・節水意識の向上は継続できているが単月での使用量の増が目立った。目標数値には達しなかった。
		75	m <sup>3</sup>	99	m <sup>3</sup>	
4	産業 廃棄物 排出量 の 削減		m <sup>3</sup>	500.0	kg	
5	環境 配慮型 商品の 営業	SNS等を通じ、様々な方面寄りの問い合わせが増加している。				

・ガソリンのCO2排出係数は、排出係数 2.32kg-CO2/Lを使用。

・電力のCO2排出係数は、2020年東京電力の排出係数 0.441kg-CO2/kWhを使用。

(2) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

No.	項目		2020年度 基準年度実績		2025年度中期目標		2024年度目標		2024年度活動計画
1	エネルギー 軽減	電力使用量の削減	10,427	kwh	2020年度比 -10%		2020年度比 -10%		・エアコン設定温度の厳守・クールビズ、ウオームビズ推進 ・室内温度 夏季28℃ 冬季20℃に設定
					9,384	kwh	9,384	kwh	
年4月		ガソリン使用量の削減	8,397	L	2020年度比 -5%		2020年度比 -5%		・アイドリングストップの徹底 ・コロナの情勢を判断し、車使用に関するルールも適時変更する
					7,977	L	7,977	L	
C O 2 排 出 量		電力使用量の削減	4,598	kg-co2	2020年度比 -10%		2020年度比 -10%		/
					4,138	kg-co3	4,138	kg-co3	
		ガソリン使用量の削減	19,481	kg-co2	2020年度比 -5%		2020年度比 -5%		
					18,507	kg-co2	18,507	kg-co2	
	合計		24,079	kg-co2	2020年度比 -6%		2020年度比 -9%		
					22,645	kg-co2	22,645	kg-co2	
3	水の使用量の削減	79	m <sup>3</sup>	2020年度比 -5%		2020年度比 -5%		・水の無駄使い防止の徹底	
				75	m <sup>3</sup>	74	m <sup>3</sup>		
4	産業廃棄物の削減							受注工事内容に左右されるために、年度の削減目標の数値目標は設定しないが、今後 マニフェスト管理と共に実数を把握していく	
5	環境配慮型商品の営業							ブログの継続アップとインスタグラム発信による閲覧者の増加に注力する	

- ・ガソリンのCO2排出係数は、排出係数 2.32kg-CO2/Lを使用。
- ・電力のCO2排出係数は、2020年東京電力の排出係数 0.441kg-CO2/kWhを使用。

## **⑧環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無**

(1) 遵守状況の確認及び評価の結果

- 廃棄物処理法
- 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例
- 消防法
- フロン排出抑制法

【2023年度】

上記法規等について、遵守状況の評価を実施し、特に問題ないことを確認しました。また、外部関係者からの苦情及び訴訟等は発生しておりません。

## **⑨代表者による全体の評価と見直し・指示**

- ・ 2023年度の環境の目標達成状況は、前期10月 後期4月に確認した。  
基準年度である2020年度数値より、電力-10%、ガソリン-5%を目標とし、電力-4%  
ガソリン+9%の結果となった。  
コロナ渦において、仕事の形が変わりつつことで、電力・ガソリンの使用量減少を期待したが  
仕事の形としては、コロナ以前に戻りつつある  
2024年度の目標を、引き続き、2023年と同じく、基準年電力-10%、ガソリン-5%とし、  
まずは、目標数値を意識しながら、目標達成を目指したい。
- ・ 水の使用量に関しては、基準年度の使用量がかかなり多く、エコアクションの取り組み開始と同時に  
削減水量にて安定してきている。引き続き、節水意識の継続を指示する。  
ただし、8月～11月の限定期間で使用量が増えてしまったので、引き続き、節水表示等で  
注意喚起していく。
- ・ 引き続き、環境保全活動に取り組む姿勢を継続しながら、環境配慮型製品の営業に関しては  
チャンスとらえ、課題を解決しながら、推進していきたいと考える。  
具体的には、ブログの更新・Instagramの開設により閲覧者を増やしていく事に注力する。
- ・ 次期環境活動レポートは、2025年5月に発行予定。